



第44回 研修コーディネート・ワーク報告書（WEB版）

「研修を円滑に行うための事前準備とは」

～経験の共有を基に、トラブル回避のチェックシートを作る！～

研修では様々なトラブルが発生することがあります。今までに経験したトラブルを共有し、なぜそのようなトラブルが起きたのかを話し合いながら対策をまとめ、トラブルを予防するためのチェックシートを作るワークショップを行ないました。

今回のワークショップの流れ

STEP 1：事例の共有「研修トラブル、こんなことあった」

今までに経験した研修トラブルをB5用紙に書き出して共有。人事担当者や講師でない場合、自分が受講した研修で経験したトラブルや問題点などについて記載していただきました。

STEP 2：そのトラブルはチェックシートで解決できるか？

チェックシートを作成しても回避できないトラブルがあります。そこで、出されたトラブルの内容を共有し、原因を考えながらそのトラブルは事前のチェックによって回避できるものなのかどうかを選別していきました。

STEP 3：チェックシートの項目を考える

選別された内容を基に、どのようなチェック項目が必要なのかを考えました。チェック項目は付箋に各自で記入し、メンバー全員で共有。また、産業能率大学が公表しているチェックシートを照らし合わせ、不足している項目を追加して、なるべく漏れが無くするようにしました。

【参考】学校法人産業能率大学総合研究所作成の準備シート

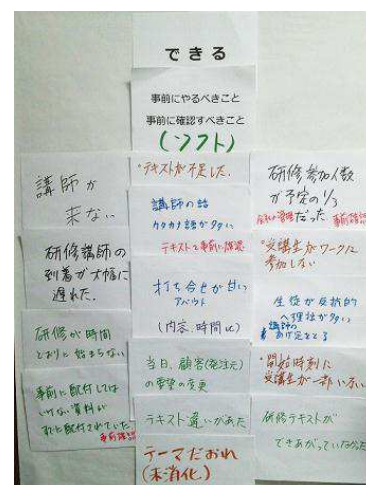
<http://www.hj.sanno.ac.jp/cp/page/6366>

チェック項目を考える際に「ハード面」と「ソフト面」の2つの視点から考えるために2つのグループに分け、与えられた視点でディスカッション。途中でグループを入れ替え、より幅広い視点で考えていきました。

STEP 4：まとめ

最後にもう一度全員でカードを見ながら内容を補完。時間の関係でチェックシートそのものを作成することはできませんでしたが、その骨組みとチェック項目は出しあうことができました。

(本報告書ではこの時の意見を基にチェックシートを作成しました)



演習で出された意見

まずは参加者が体験した研修トラブルの共有を行ない、そのトラブルが事前チェックシートの作成によって回避できるものなのかどうかを考えていきました。また、トラブル回避できる項目については、ハード（研修会場や備品など）とソフト（状態や行動など）に分け、視点を広げて実施しています。

■ チェックシートでトラブル回避できるもの、できる可能性のあるもの

ハード（研修会場・備品）面

- ・書くことが必要な演習なのに、テーブルが無かった
- ・プロジェクターが作動しない、パワーポイントが作動しない、PCの機種が古い
- ・マーカーが書けない
- ・研修会場が暗かった
- ・講師の声が小さすぎて聞こえない → マイクの準備で対応可能
- ・部屋の広さ以上に受講者がいて、とても狭い

ソフト（状態・行動）面

- ・講師が来ない、到着が大幅に遅れた
- ・研修が時間どおりに始まらない
- ・事前に配布してはいけない資料が配布されていた
- ・テキストが研修開催日までにできあがっていない、テキストの数量が不足
- ・講師の話やテキストにカタカナ語（専門用語）が多い
- ・当日、もしくは研修中に発注元から研修内容の変更の要望があった
- ・テーマだおれ（未消化）
- ・研修の参加が予定の3分の1だった、受講者がワーク（演習）に参加しない
- ・受講者が反抗的・消極的
- ・開始時に受講者がいない

■ チェックシートではトラブル回避ができないもの

- ・講師の態度が悪い
- ・研修が時間通りに終わらない → プログラムの確認によって対応可能な場合あり
- ・受講後、研修会社や研修講師から相当数の（勧誘の）電話がかかってくる
- ・テキスト代がもらえない → 契約の確認によって対応可能な場合あり

■ 今回のワークについて（所感）

事前準備の問題点の共有からスタートして意見を出し合った結果、思っていたよりも多くの意見が出され、まとめるのが大変なくらいでした。今回のように参加者が考えて作られたシートは一般的なマニュアルよりも効果が高く、有意義だと感じます。今後もただ単にディスカッションするだけでなく、研修運営に役立つ成果物を作っていきたいと思います。

第44回研修コーディネーター・ワークショップ 『研修を円滑に行うための事前準備とは』
 開催日時： 2012年11月21日（水） 19:00～21:00
 会場： 東京都中小企業振興公社 第四会議室 参加者： 7名
 報告書作成： J T C A 飯島宗裕